



だれにでもやさしいまちを  
杉並区 すぎなみ  
めぐって

# しょうがい 「障害」 さべつ 「差別」 かんが について考えよう！

しょうがい さべつ かんが  
「障害」「差別」…考えだすとむずかしい2つのことば。  
そこで、ぎやくに「何ができるだろう？」と考えて集めました。  
しょうがい ひと き  
障害のある人に聞いた  
すぎなみ く み よ も の  
「杉並区で見つけた良かったことやモノ」

みみ ふじゆう つた  
耳が不自由と伝えたら、  
かみ か  
紙に書いてくれて  
うれしかった。



どあ あ  
ドアを開けて  
もらってとても  
たす  
助かった。



ちょっとした  
おも  
「思いやり」や「やさしさ」  
それらがひろがれば  
さべつ  
しぜんと、差別をしない  
「だれにでも」やさしいまちに！

# ちょっとした「やさしさ」や「思いやり」のある行動 わたしたちにできること、いろいろあるよ!



レジで目を見て  
親切に対応してくれる。  
マスクをとって口もとを  
見せてくれることもある。  
【耳の不自由な人】

## コンビニで



高いところにある品物  
とってくださいとたのむと  
みなさんとってくれる。  
【つえを使用している人】

## まちで



子どもが、あいさつをもらうまで  
「おはようございます」「ただいま」と  
くり返し言うのですが、  
お店の人はこたえてくれる。  
【コミュニケーションが苦手な子どものお母さん】

ドアをあけてくれる。  
【車いすを使用している人】

## みち道で



昔よりも点字ブロックを  
ふさぐ自転車がへった。  
私がいつも歩く道路は、  
点字ブロックがふさがれて  
いない。  
【目の不自由な人】

## レストランで



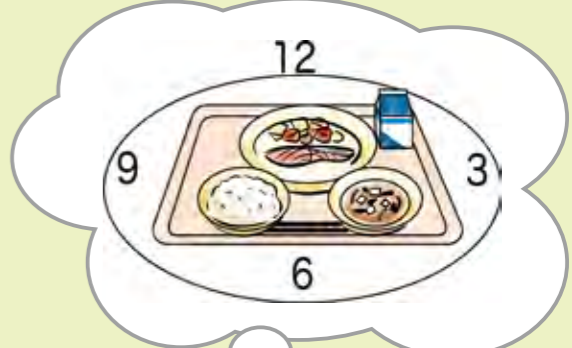
メニューに写真がついている。  
【耳の不自由な人】  
【文字を理かいるのが苦手な人】

## えき駅で



「**なにがお手伝い  
しましょうか**」

## がっこう学校で



食べ物の場所を  
時計の3時6時9時の位置で  
教えてくれる。  
【目の不自由な人】

# やさしさの第一歩は声かけから



# しょうがい ひと たい さべつ ～「障害」のある人に対して、「差別」をしてはいけません～

## しょうがい 「障害」って？

こころ からだ しょうがい しゃかい しょうがい  
心や体の障害だけでなく、社会のあちこちにある障害



しょうがい なに りゆう こころ からだ はたら  
「障害」って、何かの理由で心や体がうまく働かないことかなあ。手や足が動かしにくいとか…。

では、右の絵を見てみよう。  
くるま つか ひと みせ はい  
車いすを使っている人は、お店に入ることができるかな？



いりぐち しゃめん ひとり どあ  
入口が斜面になっているから、車いすのまま入れそう！  
あ、でも一人でドアをあけられるかなあ。

そうだね。もし入口が段差になっていたり、だれも手伝って  
くれなかったら、車いすの人はとても「大変な思い」をしな  
ければならない。これも「障害」なんだよ。



こころ からだ もんだい  
心や体の問題だけではないんだ。

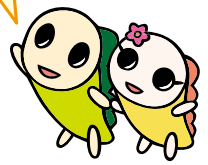
そうだね。「障害」とは、その人の心や体の問題だけでは  
なく、道や建物にある「段差」や「まわりの人が何もしない」  
など、わたしたちが暮らすまち、社会の問題でもあるんだ。



みんなで  
なに  
何ができるか、  
かんが  
考えてみよう



それなら、わたしたちにも、「障害」をなくしていくために  
できること、きっとあるね！



## さべつ 「差別」をなくすって？

やってはいけないことと、やってほしいこと



No!

くるま つか りゆう みせ  
車いすを使っているからという理由だけでお店  
に入ることをことわられた。

ほんとう すこ くふう おも いっしょ  
本当は、少しの工夫や思いやりでみんなと一緒に  
お店に入ることができるのに…。

こころ からだ はたら り  
このように、心や体がうまく働かないという理  
由だけで、「できる」のに「ことわる」こと。これ  
は絶対にやってはいけません。



Yes!

みみ ふじゆう ひと かみ もじ  
耳が不自由な人がこまっていたら、紙に文字を  
書いて教えてくれた。

このように、障害のある人がこまっているとき  
に、ちょっとした思いやりやお手伝いが助かり  
ます。

すす こえ じぶん  
進んで声をかけて、まずは自分が「できる」こと  
から、やってみましょう。